

DD11機関車 復元保存募金のお願い



1008
発行
2020年
6月4日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
清野 聡
編集責任者
教 宣 部



日本とベトナムを結んだ友好機関車

南北ベトナムが統一された2年後の1977年、日本の交通運輸労働者を中心となって、ベトナム国鉄にディーゼル機関車（DD11型の2号機）をベトナムの復興支援のために、「全交通号」と名付け贈りました。

40年経過・機関車は劣化

それから40年ほど歳月が経ち歴史の経緯も忘れ去られようとしていました。2014年に東日本鉄道支部が

ベトナムを訪れた際に、その存在をザラム工場で確認しました。しかし、歳月による機関車は著しく劣化し衝撃的でした。

友好の証し・保存すべき

青年時代の闘いが蘇るとともに友好の証しを保存すべきとの共通の思いが参加者に募り、支部内の討議を重ねて活動を進める事になりました。

2017年5月のザラム工場との交渉では、「静態保存」での



可能性について意見一致しました。保存が実現すればベトナム反戦に深く関わった時代に想いを起こし、その情熱を後々の世代に引き継ぐ平和の存在として、この機関車は再び友好の新たな架け橋として復活します。

復元はザラム工場の技術力が可能との事です。しかし、同工場は民営化されており、大半の資金を私たちが準備する必要があります。

復元に当面二百万円

復元費用については、当面300万円を目標としています。今後、復元機関車の展示場所などの課題は山積されていますが一つ一つ解決を図ってまいります。友好機関車復元保存にぜひご賛同いただき、日本ベトナム友好協会及び交通運輸関係者のみならず広範囲な団体・個人からの募金を心から訴えます。

（日本ベトナム友好協会東日本鉄道支部の記事を記載しました）。



お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「のったのしい列車」を6月末日まで運休止、7月～9月の指定席の発売を見合わせます。

「のったのしい列車」の運休・指定席発売見合わせ

運休期間

2020年6月30日の全運転日

発売見合わせ期間・

2020年7月1日（水）～9月30日（水）の全運転日

対象列車

- 羽越本線 快速「海里」（新潟～酒田）
- 飯山線 快速「越乃Shu*Kura」（上越妙高～十日町）
- 上越線 快速「ゆざわShu*Kura」（上越妙高～越後湯沢）
- 信越本線 快速「柳都Shu*Kura」（上越妙高～新潟）
- 磐越西線 快速「SLばんえつ物語」（新津～会津若松）
- 上越新幹線 特急「現美新幹線とき」（越後湯沢～新潟）
- 信越本線 快速「SLリレー号」（新潟～新津）も運休止します。

車内サービス中止なども行われています

新型コロナウイルス感染拡大防止について、いろいろ行われていますが、国労新潟地本においても、社員そして利用者の、感染防止策について、さまざまな角度から検証していかねばなりません。

職場の中で、問題点がありましたら地方本部にお寄せください。



究極的監視社会となった中国

海渡弁護士

もう一つの監視社会の覇者たらんとしているのが、中国です。

中国は監視カメラとネット監視、スコア制度によって、急速に監視社会システムを構築し、これを発展途上国に売り込み始めています。

監視カメラ6億台

中国全土に設置された監視カメラはすでに2億台、瞬間に6億台に達するだろうと言われています。

これらの監視カメラは顔認



証システムと連動しています。

米フォーリン・ポリシー誌2019年6月24日号に掲載された「ビッグ・ブラザーがベオグラードに来た」という記事によれば、2014年にベオグラードで子どもをひき逃げ死亡事故を起こした犯人が中国に逃亡しました。

セルビア当局が、中国に犯人の顔写真を送ったその後3日間で、中国国内に潜伏していたこのひき逃げ犯人を検挙しています。

高い捜査効率

この高い捜査効率に驚いたセルビア政府は、中国のフォー

ウェイ社と契約し、今後2年の間に、ベオグラード市内の800カ所に10000台の高性能監視カメラを設置する計画を公表しました。

中国製のAI監視システムを買いことに決めた国は、ニユーズウィーク誌(2019年4月24日)の調べによれば54カ国に達しています。

5G技術をめぐる米中の覇者争いが世界中で起きています。この争いは、先端IT技術をめぐる経済的な競争としての側面だけでなく、世界的なデジタル監視システムの覇者をめぐる争いにもなっています。

徹底してマーク社会から排除

中国ではウイグルやチベット民族の少数民族、労働組合活動家とこれを支援する学生たちなど政府の価値観と異なる思想を持つものは、徹底してマークされ、社会から排除されています。

しかし、他方で、大多数の

国民には手ぶらで何も持たなくても買える物ができるシステムとして歓迎されているといわれています。

逃亡犯条例に反対

香港市民が逃亡犯条例に反対し、必死にデモを続けているのは、この中国の監視システムに呑み込まれてしまえば自由を根底から奪われることを恐れているためです。

そして、表現の自由を奪われたメディア状況がコロナウイルスの拡散防止を妨げたという深刻な問題が発生しています。

知らないうちにみられている・これ一冊でわかる監視社会から記載しました。

次号も続きます。



編集後記

6月になりました。春から梅雨へそして6月は衣替えの季節ですね。長袖から半袖へ変わる時期です。新型コロナウイルス感染について新潟県は終息に向かっているようです。東京では、再び34人の感染者が発生して大変な状況になっています。新潟では、飲食店やスナックなど営業がスタート、少しずつ活気が戻ってきているのでしょうか・・・。



国労の機関会議は7月に全国代表者会議が開催されます。その他は予定されていません。地本は6月20日、「エルダー＆シニア会議」が予定されています。同じ日に地本執行委員会も開催されます。

外へは3月10日から飲みに行っていないません。そろそろ、飲みたくなってきました。

今月の後半あたりに計画したいものです。たまには居酒屋で一杯飲みながらストレス発散したいですね。